



日高ロータリークラブ WEEKLY

2024-2025 R. I テーマ
ロータリーのマジック

THE ROTARY CLUB OF HIDAKA

例会日	毎週火曜日	時間	第1・3週 18:00~19:00	第2・4週 12:30~13:30
例会場	日高市商工会	住所	〒350-1206 日高市南平沢1083 日高市商工会館内	
事務所	同上	TEL. FAX	042 (985) 3355	
会長	古本良子	幹事	谷野秀之	会報委員長 上野宗久

第1922回例会 2025年4月22日(火)

2025年5月13日発行 第1713号

会長の時間 古本良子会長

本日は、前回もお話させて頂きました『母子の健康』に関連し、今後大きな課題となっていくであろう『高齢者介護』介護保険についてお話させて頂きます。

まず、皆様もよく御存知であるかと思いますが『介護保険制度』について少し説明させて頂きます。介護保険とは、介護や支援が必要な方（要介護者・要支援者）に、介護や介護予防でかかる費用の一部を給付する制度です。仕組みとしては、介護が必要となった高齢者とその家族を社会全体で支えていくというものです。介護保険の給付を受けるには、市区町村の担当窓口（地域包括支援センター）に申請が必要となります。その際必要になる『介護保険証』ですが、65歳を迎えたタイミング(65歳以上の第1号被保険者全員)で自治体から交付されます。皆様の中にも、65歳以上の方の御自宅には日高市より保険証が郵送されて来たかとおもいます。ここで多いのが…良くお聞きする話なのですが、大切な物だからこそ「ちゃんとしまっておこう」となる訳です。いざ「使おう！」となった時に見つからない…これはよくある話です(笑)。再発行も出来ますが、さっと取り出せる身近な場所に保存するのがベストかもしれません。介護保険で受けられる介護サービスですが、大きく分けて『在宅サービス(自宅を中心に利用するサービス。自宅を訪問してもらう訪問系サービス)』と『施設サービス(施設に通って受ける通所系サービス)』と『地域密着型サービス(住み慣れた地域での生活を続けるために、地域の特性に応じたサービス)』の三つがあります。要介護1~5の認定を受けた方には『介護給付』が、要支援1・2の認定を受けた方には、『予防給付(利用者本人のできることを増やし、生き生きとした生活を送れるように身体の状態の改善と悪化予防を目的としたサービス)』があります。利用できる施設は、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護医療院、介護療養型医療施設です。4つの施設の入居条件は原則65歳以上で、要介護1~5の認定を受けた方となります。実際に介護保険のサービスを利用するには、まず申請をして、要介護(要支援)認定を受ける必要があります。早急にサービス利用を希望する場合でも、申請日以降であれば利用を開始することができます。そういった場合には、申請後の調査等と並行して、認定結果が出るまでの暫定のケアプラン(介護サービス計画または介護予防サービス計画)をもとにサービス利用を開始しますので、まずはケアプラン作成窓口の介護支援専門員(ケアマネジャー)または地域包括支援センターにご相談ください。地域包括支援センターとは、地域の高齢者の心身の健康を保ち、生活の安定のために必要な援助を行うことを目的に設置されています。主任ケアマネジャー、社会福祉士、保健師(看護師)が連携をとりながら業務を行います。日高市には、高麗地域包括支援センター(武蔵台)、高麗川地域包括支援センター(高麗の郷)、高萩地域包括支援センター(日高団地入口交差点横)の3箇所がございます。現在私が運営しております施設でも、地域の高齢者の皆様が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるようにするために、どのような支援が必要かを把握し、地域における適切なサービス、機関又は制度の利用につなげるなどの支援を行ってはおりますが、その要となるケアマネジャーが不足している次第です。少子高齢化という言葉も、まさに肌で感じる日々であります。身近な問題であるからこそ、自身の『健康』に向き合って考えることの大切さを皆様にお伝えしたいと思いました。



幹事報告 古本良子幹事代行

幹事より

- ・飯能 RC 合同コンペ(4月18日 於：飯能グリーン CC)出席御礼
- ・地区研修協議会(4月20日 於：駿河台大学)出席御礼

卓話

イニシェーションスピーチ



内海伸幸 会員

私の自己紹介と、経歴を簡単にお話させていただきます。昭和 42 年 2 月 3 日生れ、出生地は東京都国立市です。父秀幸、母和江の長男として生を受けました。翌年 43 年 10 月次男清元が誕生、44 年三男淑元が誕生し、三人兄弟となりました。私が 2 歳の時に東京都昭島市に移住(昭島市にて、父が(有)錦鉄工を経営)昭島私立すみれ幼稚園卒園、光華小学校卒業、清泉中学へ入学致しましたが、その年の 9 月に埼玉県日高町に移住致しました。高麗川中学校へ転入、野球部に入部致しました。昭和 57 年 4 月埼玉県立玉川工業電気科入学、卒業後、(株)国産機器(現在のソーシン)へ入社、そして昭和 62 年 5 月(有)錦鉄工へと戻りました(父に呼び戻されました)。事業内容ですが、自動車部品加工、機械工業、マシニングセンター、NC 旋盤、輸送機器メーカーのエンジン、水回り部品の加工などを行なっております。平成元年 10 月、有限会社から株式会社に称号変更、プライベートでは平成 4 年 11 月 22 日に結婚、当時 25 歳でありました。妻の和美は、中学校の同級生であります。平成 6 年 10 月に長女成実が出生、平成 8 年次女真実が出生致しました。平成 2 年 5 月、取締役社長に就任、平成 29 年 6 月代表取締役社長就任、代表取締役専務に弟清元が就任致しました。現在の会社ですが、平成 16 年 9 月、比企郡都幾川村に移転と同時に(株)ニシキへと社名変更致しました。従業員数 29 名、平均年齢 43.6 歳、男子 27 名、女子 2 名であります。当社ですが、正式に募集しての入社は『4 名』であります。従業員のほとんどが、知り合いからの紹介(野球チーム関係、高校の同級生、ソフトボール関係、友人の妹、知り合いの会社より紹介、スナックのママより紹介、中学の同級生など)であります。古くからの友人、趣味を通しての人付き合い等々を大切にきて良かったと心から感じております。社外でのお付き合いですが、令和元年人間航友会に入会、現在ときがわ商工会工業部副部会長、ソーシン会副会長を務めさせて頂いております。そして日高 RC に入会させて頂き、この御縁を大切にしながら、皆様と楽しく活動して行きたいと思っております。



齋藤由貴会員

神奈川県横須賀市生まれです。6 歳よりピアノを始めました。国立音楽大学音楽文化デザイン学科音楽療法専攻、2008 年に卒業したのち、アルバイトをしながら演奏活動ピアノ講師業をはじめました。週 7 日、ほぼ毎日子どもたちとレッスンをする中で、どうしたらもっと子どもたちが輝くようになるのか?と考え、自身の幼少期の経験から、子どもたちにとって、ピアノが人生を楽しむためのツールとして、自身の友達のような存在になってほしいという願いのもと『ピアノや音楽を通じて子どもたちに人生を楽しむコツを学んでもらう場』として、(株)びあのっちを 2014 年に設立致しました。ご自宅が子どもたちにとって“遊び場・学び場・育つ家”であると考え、楽しんで没頭できるという環境づくりも一緒に行っております。びあのっちですが、「ピアノや音楽を通じて子どもたちに人生を楽しむコツ」を学んでもらう場としております。一般的なピアノ教室は、「音楽を学ぶ」つまり音楽そのものをいかに学ぶかという考え方かとおもいます。びあのっちでは「音楽で学ぶ」、つまり音楽を通してこれからの時代に必要な力を育むという考え方です。「正解をこたえる」のではなく「自分で考え、ともに創り出す」という考え方のもと、ピアノや音楽・環境を通じて子どもたちの感性を楽しく伸ばすことを目標としております。現在びあのっちでは、1.通い(埼玉日高教室)2.出張 3.オンラインの 3 つの受講方法が選べます。(2025 年現在、市内の保育園内でのセッション、大人のセッションも行っております)これからもびあのっちが育む 5 つの力『☆0 から 1 をつくる力、☆問題解決力、☆リーダーシップ、☆コミュニケーション力、☆国際理解力』を大切に、子どもたちと親御さんがより笑顔になるお手伝いがしたい!と考えております。また日高 RC の皆様と、地域貢献、奉仕活動に邁進して行きたいと考えております。

出席報告	4 月 22 日	会員数	出席数	出席免除	欠席数	出席率	4/1 率
	昼間	21	12	2	9	57.8%	100%

ニコニコボックス報告

会員 11 名 金額 11,000 円 累計金額 306,000 円